

DPU パケット フローを投稿

• DPU パケット フローを投稿 （1 ページ）

DPU パケット フローを投稿

サービス ポートチャンネル インターフェイスに適用される Pass-2 ACL をチェックし、インターフェイス構成の詳細を確認して、DPU から戻るトラフィックが接続先への転送のために NPU によって正しく処理されていることを確認します。トラフィックが NPU でドロップしているか、DPUから戻った後にルーティングされない場合は、このセクションの確認手順を実行します。

手順

ステップ 1 フローを学習する前に、検査の2番目のパスでDPUにリダイレクトするVRFの内部で生成されたポリシーと一致するパケット カウンタを確認します。

例：

```
(IPv4 traffic)
switch#  show access-lists __epbr_ip_dpu_post_fwd dynamic
IP access list __epbr_ip_dpu_post_fwd
        statistics per-entry
        26201 permit ip any any nve vni 4 redirect Service-Port-Channel512.13 [match=117821124]
        31101 permit ip any any nve vni 5 redirect Service-Port-Channel512.12 [match=117826975]
        4294967295 permit ip any any [match=0]
```

例：

```
(IPv6 traffic)
switch# show access-lists __epbr_ipv6_dpu_post_fwd dynamic
IPv6 access list __epbr_ipv6_dpu_post_fwd
        statistics per-entry
        25901 permit ipv6 any any nve vni 4 redirect Service-Port-Channel512.13 [match=60695847]
        30801 permit ipv6 any any nve vni 5 redirect Service-Port-Channel512.12 [match=60698895]
        4294967295 permit ipv6 any any [match=0]
```

上記のルールで VNI として使用される **show vrf** <> **detail** を介して VRF のテーブル ID を特定して、対象の VRF に関連するルールを特定します。ルールに DPU から返されるトラフィックに一致する permit エントリが含まれていることを確認し、そのトラフィックを VRF の正しいサービス ポートチャンネル サブイ

DPU パケット フローを投稿

ンターフェイスにリダイレクトします。これらの VRF ルールを使用して新しいフロー学習時のパケットヒット カウンタを確認します。

ステップ 2 フローを学習する前に、検査の 2 番目のパスで DPU にリダイレクトする VLAN の内部で生成されたポリシーと一致するパケット カウンタを確認します。

例：

```
switch# show access-lists __epbr_ip_dpu_post_fwd_all dynamic

IP access list __epbr_ip_dpu_post_fwd_all
        statistics per-entry
        4294967295 permit ip any any redirect Service-Port-Channel 512 [match=0] --> resend to DPU
 for Pass2
switch# show access-lists __epbr_ipv6_dpu_post_fwd_all dynamic

IPv6 access list __epbr_ipv6_dpu_post_fwd_all
        statistics per-entry
        4294967295 permit ipv6 any any redirect Service-Port-Channel 512 [match=0]
```

ピン接続モードの場合、DPU ごとに一意の ACL が作成されます。

ステップ 3 DPU 接続サービス イーサネット ポートの統計を表示します。

例：

```
switch# show interface service-ethernet 1/1-4
switch# show interface service-ethernet 1/2 counters
switch# show interface service-port-channel 1-4
switch# show interface service-port-channel 512
switch# show int service-ethernet 1/2 counters detailed
switch# show interface service-ethernet <subinterface> counters
switch# show int service-ethernet <> counters errors
switch# show int service-ethernet 1/1-4 counters brief
```

これらのコマンドは、パケット/バイト カウンタ、詳細統計情報、エラー統計情報、平均レートなど、DPU に接続されているサービス イーサネット インターフェイスのさまざまな統計情報を提供します。これらのカウンタをチェックすると、トラフィックが予想どおりに DPU に到達しているかどうかを判断できます。

これらのチェックを実行することにより、NPU が DPU からの戻りトラフィックを処理するように Pass-2 ACL を正しくプログラムしていること、およびサービスポート チャンネル インターフェイスとサブインターフェイスが転送用の正しいパラメータで構成されていることを確認できます。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。